



レストランのバイキング料理は、なぜバイキングというの

日本でつけられた名前らしい

レストランで、バイキング料理を食べたことがありますか。いろいろな料理がたくさん並んでいる中から、自分の好きなものを、好きなだけ取ってきて、食べていいのですから、食事が楽しいですね。

このように、バイキング料理というのは、いろいろな料理を1か所に置いておき、一人ひとりが自由に、食べただけ食べる形式の食事のことをいいます。

決められた料金を払えば、お客さんが食べ放題に食べていいという、スウェーデンのモーガスボードの形式を取り入れたもので、バイキングの子孫にあたるスウェーデン人の食事ということで、バイキング料理といったのでしょう。

ただし、バイキング料理という名前は、日本でつけられたもののようです。

ヨーロッパをあらしまわったバイキング

バイキングというのは、8世紀から11世紀ごろにかけて、スウェーデンがあるスカンジナビア半島やデンマークを根拠地にして、ヨーロッパ各地と貿易をしたノルマン人のことです。この人たちは、ときには、海賊にもなり、各地をせめたり、人の財産をうばい取ったりしました。それで、バイキングといえば、海賊を意味するようになったのです。

(監修・田代 脩)

